

Myosa® for Children

小児の睡眠呼吸障害



小児用Myosa®とは

睡眠呼吸障害(BDS)は幼少期に始まります。未治療のまま放置するとさまざまな障害に至ります。睡眠時無呼吸(OSA)に進行することもあり、行動、学習、成長発育に悪影響を及ぼします。これらの健康問題は成人になっても持続し、悪化し続けます。

「適切な頭蓋顔面と気道の発育の可能性を最大限に発揮させるためには、継続的な鼻呼吸の確立を最終目標とすべきである。」¹⁴

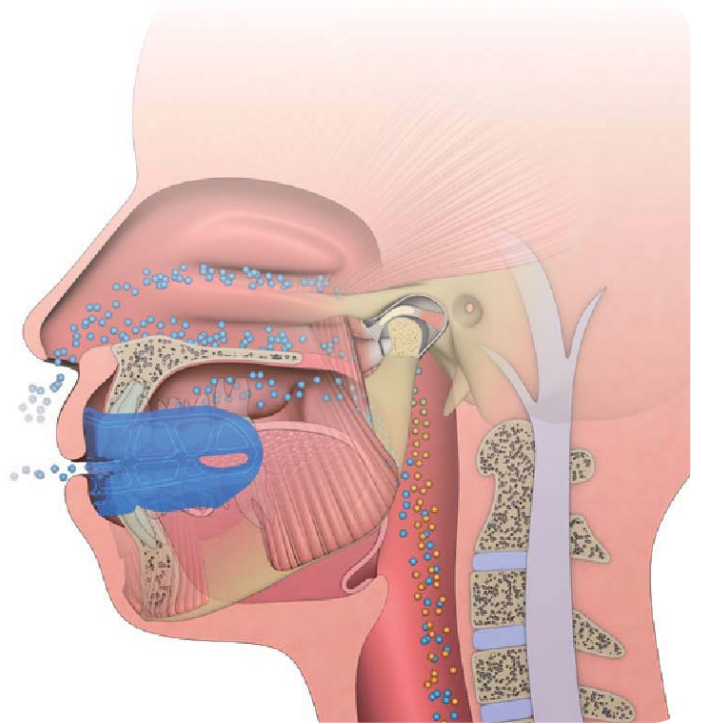
最近の研究は多数の子どもに何らかのBDSがあることを示していますが^{15,16}、実際はそれよりさらに多い可能性があります。文献で各分野からのエビデンスが増える中、容易に実施でき、治療の需要を満たせる治療手順に目を向けなければなりません。これらの患者の治療と管理の調整には歯科医師が中心的役割を果たします。

小児用Myosa®の作用機序

MRCの革新的な小児用Myosa®装置は筋機能習癖や呼吸機能障害などの原因に働きかけることによりBDSを治療します。

これらの装置は気道を開き、舌位を改善し、口唇閉鎖を確立し、口呼吸を許容しながら鼻呼吸への移行を助けるように作られています。装置のベースは5mm厚で、下顎を前方に位置付け、上気道を開きます。

Myosa®治療手順に従って使用すれば、容易に実施できる装置であり、BDS小児患者の管理と治療に効果的なことが示されています¹⁷。また、MRCの筋機能矯正治療システム(Myobrace®)へスムーズに移行することができます。



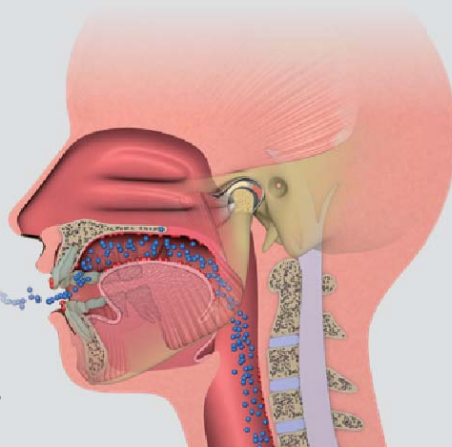
小児用Myosa®はBDSの要因である筋機能習癖を治療します。苦しくないように多少の口呼吸を許容しながら、正しい鼻呼吸を促します。装着中は5mm厚のベースが気道を開きます。

参考文献: 14. Torre C, Guilleminault C. J Pediatr (Rio J). 2018;94(2):101-103. 15. De Menezes VA, et al. Braz J Otorhinolaryngol. 2006;72(3):394-9. 16. Abreu RR, et al. J Pediatr (Rio J). 2008;84(5):467-70. 17. Levrini L. J Clin Pediatr Dent. 2018;42(3):236-239

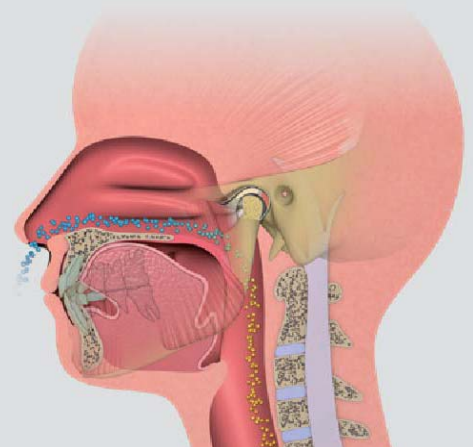
口呼吸vs正常な鼻呼吸

口呼吸は異常であり、睡眠呼吸障害(BDS)の原因の一つです。

口から呼吸をしていると、顎は前方に発育しません。通常、BDSのある成人は顎が劣成長であり、舌や下顎が気道を狭めています。そこで、下顎と舌が前方に保たれ、気道が開くように、前方への発育を促し、常に鼻から正しく呼吸することを再学習することが大切です。



口呼吸
低位舌
(不正な成長)



鼻呼吸
挙上された舌位
(正しい成長)